

平成24年度（第8期）

知床・羅臼まちづくり基金  
報告書



世界自然遺産の町・知床らうす

北海道羅臼町

## 社会投資家である寄付者や町内外のみなさまへ

みなさまにおかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本町のまちづくりに格別のご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

ここに、知床・羅臼まちづくり基金（以下、基金）の平成24年度（第8期）事業報告をさせていただきます。

この基金は、渡辺清氏（寄付市場協会【J a D o M a C】会長）のご提案を受けて平成17年6月（北海道で4番目、全国で7番目）に導入いたしました。基金の仕組みは、町が提示した政策メニューの中から寄付者の方々が寄付金で選択することから、選挙に例えて「寄付による投票」と呼ばれています。寄付者の社会的ニーズを寄付金という形で汲み取り、政策に反映させようとするものです。この意味において、寄付者は「もう一人の投票者」であると同時に公益（パブリックベネフィット）を受け取ろうとする「社会投資家」とも言えます。

平成17年7月に世界自然遺産に登録された「知床」に位置する羅臼町では、「知床の自然保護・保全事業」を柱とし、老朽化が著しい町内唯一の羅臼町立診療所の建設を目的とした「医療・保健・福祉のまちづくり推進事業（診療所建設事業）」、北方領土に隣接する町として、未だ進展のない北方領土問題の返還に向けた取り組みを行うための「北方領土返還運動事業」、また7月には老朽化した中学校の教育環境の整備を目的とした「中学校改築事業」を政策メニューに加えさせていただいたところです。

これらの政策メニューに対し多くの賛同者を得て、基金への寄付は、第1期16,239,441円、第2期22,669,000円、第3期5,829,400円、第4期6,856,411円、第5期は24,618,497円、第6期は60,069,062円、第7期は22,054,314円、第8期は16,468,608円となっており、これまでの総額は174,804,733円（平成25年3月末）に達しました。

一方、運用益として2,737円の基金利子が生じており、基金総額では175,141,364円となりました。

このことにより、診療所建設事業に寄せられた基金をもとに羅臼町診療所を改築し、名称も新たに知床らうす国民健康保険診療所として7月に開設することができ、長い間休止しておりました24時間救急医療体制も再開されました。

これもみなさまのご支援、ご協力の賜物でございます。心よりお礼申し上げます。

地方自治を取り巻く環境は、「平成の大合併」や「三位一体改革」などによって激変をしており、加えて人口減少、少子高齢化が、今後ますます進むことが推測されます。

当町においても、こうした環境の変化を背景に「地域格差」や「医療格差」といった格差社会に直面しており、財政的にも大変厳しく、町政運営も極めて厳しい状況の中、医師・看護師の不足により町民の生命を守る医療体制の維持に支障が生じている状況にあります。

こうした中で、自立のまちづくりを目指している羅臼町にとっては、今後も厳しい町政を余儀なくされるものと思われ、寄付を通じた新たな地方自治を確立すべく努力してまいる所存であります。ご寄付いただいた寄付金は、その目的を達成するために有効に活用させていただき、「世界自然遺産・知床」を保護し、将来を担う次世代に引き継ぐほか、町民が安心して暮らせる地域社会、住民参加の自治体運営を目指して参りたいと考えております。

みなさまにおかれましては、今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年 9月  
羅臼町長 脇 紀美夫

# 知床羅臼まちづくり基金状況報告

## 1 寄付の概況

平成24年度（第8期）は、総額16,468,608円、延べ34件の寄付の申し込みがありました。

政策メニュー別では、「知床の自然保護・保全事業」が9,387,608円で4件、「医療・保健・福祉のまちづくり推進事業（診療所建設事業）」が1,101,000円で15件、「北方領土返還運動事業」が550,000円で3件、また、あらたに政策メニューに加えられました「中学校改築事業」に5,430,000円で12件でした。

地域別では、町内が3,331,000円で18件、町内を含まない道内が3,937,608円で8件、また、道外では東京都が450,000円で3件、神奈川県が50,000円で3件、大阪府が8,700,000円で2件となっており、道外の各地域の総計は9,200,000円で8件となっています。個人・団体別では、個人が4,801,000円で22件、団体が11,667,608円で12件となっており、個人1件当たりの平均額は218,227円、団体の1件当たりの平均額は972,301円となっています。

## 2 基金の処分

「知床の自然保護・保全事業」については目標額に達しているため、基金の一部を使用してルサ地域から相泊地区へのヒグマ及びエゾシカ侵入防止対策事業を行いました。

「医療・保健・福祉のまちづくり推進事業（診療所建設事業）」については、7月に開設されました「知床らうす国民健康保険診療所」の建設費へ充当されております。

「北方領土返還運動事業」については目標額に達しておりますが、優先事業について検討中であり基金処分は行っておりません。

今後、より良い有効活用を図り、事業を展開していきます。

【基金の処分状況】

年 度	知床の自然保護・保全事業	診療所建設事業	北方領土返還運動事業
平成 22 年度	—	—	620,500 円 (啓発看板修繕)
平成 23 年度	3,120,255 円 (ヒグマ及びエゾシカ 侵入防止対策事業)	136,730,000 円 (診療所建設事業)	—
平成 24 年度	6,522,600 円 (ヒグマ及びエゾシカ 侵入防止対策事業)	—	—



平成 24 年度設置したヒグマ・エゾシカ侵入防止対策事業



平成 24 年 7 月に開設した知床らうす国民健康保険診療所

### 3 寄付の受入れデータ

#### (1) 年度別データ

(単位：件数=件・人数=人・金額=円)

	平成20年度以前		平成21年度		平成22年度	
	寄付額	件数	寄付額	件数	寄付額	件数
知床の自然保護・保全事業	4,614,280	59	429,111	4	425,218	3
診療所建設事業	42,045,972	131	23,689,386	34	59,038,844	51
北方領土返還運動事業	4,904,000	17	500,000	2	605,000	4
指定なし	30,000	3	—	—	—	—
合計	51,594,646	210	24,618,497	40	60,069,062	58
運用益	245,166	—	46,536	—	17,716	—
基金取り崩し	—	—	—	—	682,500	—
基金合計						

	平成23年度		平成24年度		合計	
	寄付額	件数	寄付額	件数	寄付額	件数
知床の自然保護・保全事業	5,592,541	6	9,387,608	4	20,448,758	76
診療所建設事業	15,761,773	44	1,101,000	15	141,636,975	275
北方領土返還運動事業	700,000	4	550,000	3	7,259,000	30
中学校改築事業	—	—	5,430,000	12	5,430,000	12
指定なし	—	—	—	—	30,000	3
合計	22,054,314	54	16,468,608	34	174,804,733	396
運用益	24,476	—	2,737	—	336,631	—
基金取り崩し	139,850,255	—	6,522,600	—	147,055,355	—
基金合計					28,086,009	

	平成20年度以前			平成21年度			平成22年度		
	寄付額	件数	人数	寄付額	件数	人数	寄付額	件数	人数
個人・団体	51,594,252	210	194	24,618,497	40	40	60,069,062	58	55
うち個人	4,934,619	87	80	4,960,000	10	10	16,395,000	33	30
うち団体	46,659,633	123	114	19,658,497	12	12	43,673,012	24	24
匿名のため不明	—	—	—	—	—	—	1,050	1	1
地域別	51,594,252	210	194	24,618,497	40	40	60,069,062	58	55
うち町内	36,512,300	124	118	22,039,386	13	13	56,397,794	43	41
うち道内 (町内除く)	9,205,952	34	32	2,079,111	4	4	3,160,218	10	10
うち全国 (町内・道内除く)	5,876,000	52	44	500,000	5	5	510,000	4	3
匿名のため不明	—	—	—	—	—	—	1,050	1	1
1件あたり寄付額	245,687			615,462			1,035,673		
個人1人あたり寄付額	61,683			310,000			546,500		
団体1組あたり寄付額	409,295			819,104			1,819,709		

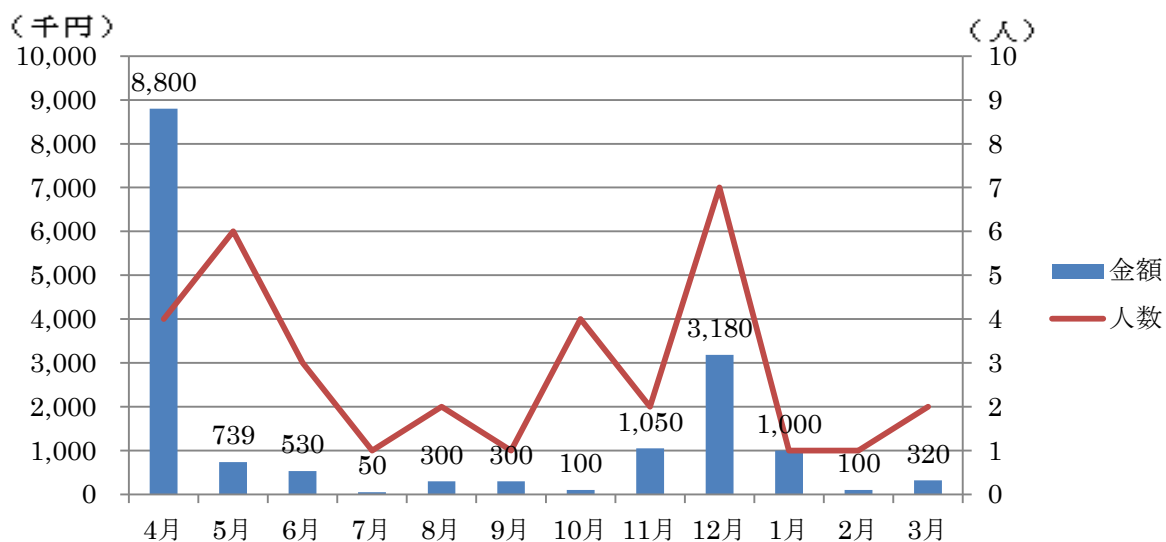
	平成23年度			平成24年度			前年対比(23対24年度)		
	寄付額	件数	人数	寄付額	件数	人数	寄付額	件数	人数
個人・団体	22,054,314	54	50	16,468,608	34	33	74.7%	63.0%	66.0%
うち個人	12,575,000	36	32	4,801,000	22	21	38.2%	61.1%	65.6%
うち団体	9,479,314	18	18	11,617,608	12	12	122.6%	66.7%	66.7%
匿名のため不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域別	22,054,314	54	50	16,468,608	34	33	74.7%	63.0%	66.0%
うち町内	14,630,362	36	32	3,331,000	18	17	22.8%	50.0%	53.1%
うち道内 (町内除く)	1,773,952	13	13	3,937,608	8	8	222.0%	61.5%	61.5%
うち全国 (町内・道内除く)	5,650,000	5	5	9,200,000	8	8	162.8%	160.0%	160.0%
匿名のため不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1件あたり寄付額	408,413			484,371			118.6%		
個人1人あたり寄付額	392,969			218,227			55.5%		
団体1組あたり寄付額	526,629			968,134			183.8%		

(2) 月別データ

(単位：件数=件・人数=人・金額=円)

	知床の自然 保護・保全事業		診療所建設事業		北方領土 返還運動事業		中学校 改築事業		指定なし		合 計		
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	人数	金 額
4月	1	8,500,000	3	300,000	—	—	—	—	—	—	4	4	8,800,000
5月	2	387,608	4	351,000	—	—	—	—	—	—	6	6	738,608
6月	1	500,000	2	30,000	—	—	—	—	—	—	3	3	530,000
7月	—	—	—	—	—	—	1	50,000	—	—	1	1	50,000
8月	—	—	1	100,000	1	200,000	—	—	—	—	2	2	300,000
9月	—	—	—	—	1	300,000	—	—	—	—	1	1	300,000
10月	—	—	4	100,000	—	—	—	—	—	—	4	4	100,000
11月	—	—	—	—	1	50,000	1	1,000,000	—	—	2	2	1,050,000
12月	—	—	1	20,000	—	—	6	3,160,000	—	—	7	7	3,180,000
1月	—	—	—	—	—	—	1	1,000,000	—	—	1	1	1,000,000
2月	—	—	—	—	—	—	1	100,000	—	—	1	1	100,000
3月	—	—	1	200,000	—	—	2	120,000	—	—	3	3	320,000
第8期 合 計	4	9,387,608	15	1,101,000	3	550,000	12	5,430,000	—	—	34	34	16,468,608

月別グラフ

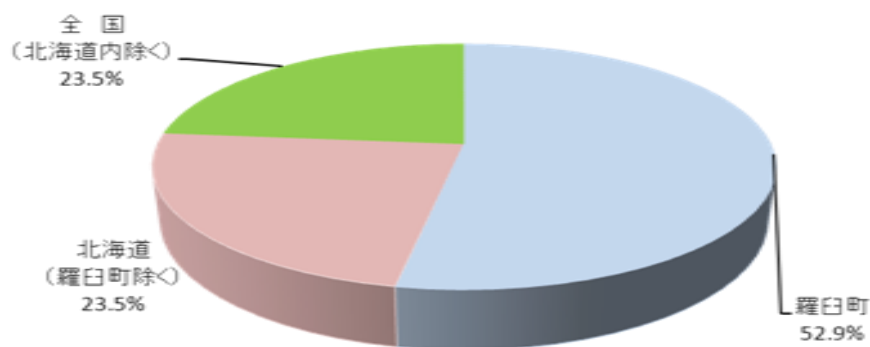


(3) 地域別データ

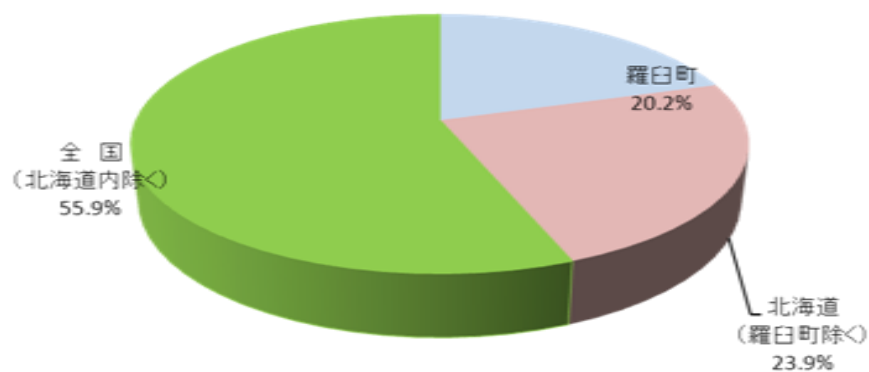
(単位：件数=件・人数=人・金額=円)

	知床の自然 保護・保全事業		診療所建設事業		北方領土 返還運動事業		中学校 改築事業		指定なし		合 計		
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金額	件数	人数	金 額
羅臼町	1	30,000	11	1,031,000			6	2,270,000			18	17	3,331,000
北海道 (羅臼町除く)	2	857,608	2	30,000			4	3,050,000			8	8	3,937,608
全 国 (北海道内除く)	1	8,500,000	2	40,000	3	550,000	2	110,000			8	8	9,200,000
東京都					2	350,000	1	100,000			3	3	450,000
大阪府	1	8,500,000			1	200,000					2	2	8,700,000
神奈川県			2	40,000			1	10,000			3	3	50,000
不 明													
第8期合計	4	9,387,608	15	1,101,000	3	550,000	12	5,430,000			34	33	16,468,608

地域別件数



地域別金額



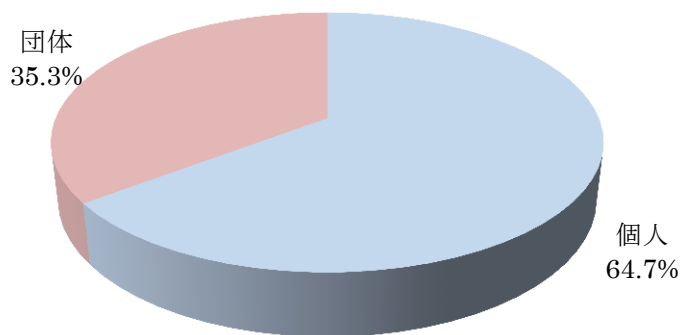


(4) 個人・団体別データ

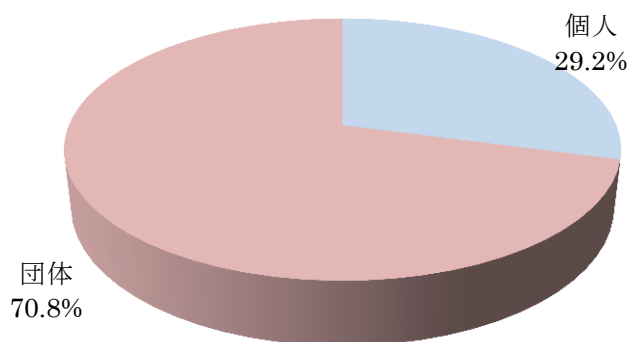
(単位：件数=件・人数=人・金額=円)

	知床の自然 保護・保全事業		診療所建設事業		北方領土 返還運動事業		中学校 改築事業		指定なし		合 計		
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金額	件数	人数	金 額
個 人	2	530,000	12	991,000	1	50,000	7	3,230,000	-	-	22	21	4,801,000
札幌 らうす会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京 らうす会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体	2	8,857,608	3	110,000	2	500,000	5	2,200,000	-	-	12	12	11,667,608
札幌 らうす会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京 らうす会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
匿名のため 不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第8期合計	4	9,387,608	15	1,101,000	3	550,000	12	5,430,000	-	-	34	33	16,468,608

個人・団体別人数



個人・団体別金額



(5) 個人の寄付者の方々

氏名	住所	政策メニュー			
		知床の自然保全	診療所建設	北方領土返還	中学校改築
村田 君子	北海道羅臼町	—	50,000	—	—
村元 久雄	北海道羅臼町	—	50,000	—	—
佐々木八千栄	北海道羅臼町	—	非公開	—	—
鹿又 芳弘	北海道羅臼町	30,000	—	—	—
望月 武彦	北海道羅臼町	—	20,000	—	—
小尾 和子	北海道札幌市	500,000	—	—	—
杉中 正人	北海道札幌市	—	10,000	—	—
山下 和恵	北海道羅臼町	—	100,000	—	—
根塚 文夫	神奈川県横浜市	—	20,000	—	—
杉目 正尚	北海道新得町	—	—	—	1,000,000
吉岡 和守	北海道札幌市	—	—	—	1,000,000
山岸 政男	北海道札幌市	—	20,000	—	—
岡村 進	東京都渋谷区	—	—	50,000	—
川上 昭一	北海道羅臼町	—	—	—	1,000,000
池田 榮壽	北海道羅臼町	—	—	—	100,000
西川 治利	東京都千代田区	—	—	—	100,000
高津 敏久	北海道羅臼町	—	200,000	—	—
山下 和恵	北海道羅臼町	—	—	—	20,000

※氏名等の個人情報の掲載については、ご本人に了解を得ています。

掲載の順序については、寄付の受付日順で表記しています。

※平成24年（第8期）において、指定なしの寄附はありませんでした。

(6) 団体の寄付者の方々

氏名	住所	政策メニュー			
		知床の自然保全	診療所建設	北方領土返還	中学校改築
有限会社 知床ネイチャークルーズ	北海道羅臼町	—	50,000	—	—
ダイキン工業株式会社	大阪府大阪市	8,500,000	—	—	—
北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社	北海道札幌市	357,608	—	—	—
羅臼ライオンズクラブ	北海道羅臼町	—	—	—	50,000
宗教法人念法真教	大阪府大阪市	—	—	200,000	—
UIゼンセン同盟	東京都千代田区	—	—	300,000	—
大口市岡商店有限会社	北海道羅臼町	—	30,000	—	—
有限会社ヤマト富山商店	北海道羅臼町	—	30,000	—	—
有限会社阿保水産	北海道羅臼町	—	—	—	1,000,000
株式会社クレア	北海道中標津町	—	—	—	50,000
高部電気株式会社	北海道中標津町	—	—	—	1,000,000
有限会社みさき水産	北海道羅臼町	—	—	—	100,000

※掲載の順序については、寄付の受付日順で表記しています。

※平成24年（第8期）において、指定なしの寄附はありませんでした。

(7) 寄付者からのメッセージ

日付	メッセージ	住所	区分
H24. 4. 20	夫の生存中は羅臼診療所、介護ステーションなどに大変お世話になりました。また、葬儀に際しましても町職員の方々に一方ならぬお世話になりました。心より御礼申し上げます。	北海道羅臼町	個人
H24. 5. 28	新築祝いのお返しに代えて	北海道羅臼町	個人
H24. 6. 12	大好きな羅臼町の医療体制の充実のため、まことに些少ですが、ふるさと納税させていただきます。	北海道札幌市	個人
H24. 12. 10	知床というと斜里が表玄関のようで、交通の便も良いようですが、かげになっているような羅臼町を支援しようと考えました。町の発展を祈念いたします。	北海道札幌市	個人
H24. 12. 18	今から40年ほど前、(中学2~3年頃)羅臼に住んでいました。 世界遺産で有名になっていますが、だんだん人口が少なくなっているのは寂しい限りです。 小額ですが何かの役に立てばありがたいです。	神奈川県相模原市	個人

## 4 基金の歩み

平成17年	4月26日	まちづくり講演会で、渡辺清氏（旧 NPO 法人ホームタウン・ドナー・クラブ）が『寄付による投票条例で個性的なまちをつくろう』と題して講演。町民約84名が参加。
平成17年	5月13日	羅臼町自立プラン検討委員会に、通称「寄付による投票条例」の設置について意見聴取。多数の委員から、早期に条例設置の意見が上がる。
平成17年	6月22日	議会に条例案を提案し、全会一致で可決。
平成17年	7月20日	全日空が社会貢献事業の一環として、ANAマイレージ会員に対して世界自然遺産・知床の保全事業のために寄付マイルの募集を始める。期間は8月31日までで、寄付額は28万円に達する。
平成17年	10月13日	静岡県掛川市議会が知床・羅臼まちづくり基金について視察。
平成17年	12月26日	寄付金が1千万円を超える。
平成18年	5月9日	静岡県三島市議会が知床・羅臼まちづくり基金について視察。
平成18年	5月18日	東京都国分寺市議会が知床・羅臼まちづくり基金について視察。
平成19年	7月18日	埼玉県戸田市議会が知床・羅臼まちづくり基金について視察。
平成20年	8月20日	寄付件数が200件に達する。
平成20年	9月22日	寄付金が5千万円を超える。
平成22年	10月7日	紋別郡興部町議会が知床・羅臼まちづくり基金について視察。
平成22年	12月22日	寄付金が1億円を超える。
平成23年	2月25日	寄付件数が300件に達する。
平成23年	5月6日	寄付人数が300人に達する。
平成23年	8月31日	ダイキン工業株式会社社長が知床を訪れた際に、知床の自然に感銘を受け、この自然を保護したいという思いから寄付を申し込む。寄付額は500万円。
平成23年	8月31日	寄付金が1億5千万円を超える。
平成24年	7月2日	知床らうす国民健康保険診療所が開設。
平成24年	7月20日	事業の種類に「中学校改築に関する事業」を追加する。

【監修】寄付市場協会（J a D o M a C）会長 渡辺清

## 知床羅臼まちづくり基金の概要

### 1 知床・羅臼まちづくり基金の目的

住民の方々が寄付という形で、積極的にまちづくりに参加できることは、町の本来の姿です。住民参加型の地方自治を実現し、個性豊かな活力あるまちづくりを目的としています。

### 2 寄付の使い道

知床・羅臼まちづくり基金へ寄せられた寄付金は、基金として積み立てます。基金は必要に応じて取り崩し、4つの特定の事業に使われます。

※特定事業については、別紙政策メニューリストを参照願います。

### 3 寄付の申し込み方

① 「寄付申込書」で寄付の使い道を指定し、お申し込み下さい。

(寄付の使い道の指定のない場合は、町長が使い道を決定します。)

- ・羅臼町役場担当窓口での申し込み
- ・電話、メール、FAX、郵送などでの申し込み

※役場窓口以外（電話、FAX、郵送）で申し込みされた方へは、役場より寄付金申込書・パンフレット・返信用封筒・振込案内を送付致しますので、返信用封筒にて寄付申込書を返送願います。

② 申し込みいただいた方には羅臼町より振込のご案内をさせていただきますので、指定の口座へお振込みください。

(振込み手数料については、本人負担となりますのでご了承願います。)

※役場窓口で申し込みされた場合は、直接窓口でご寄付していただくことも可能です。

※知床・羅臼まちづくり基金をかたった寄付の強要など、不当な請求が予想されることから、これらを防止するため、本基金は寄付申込書を役場に送っていただき、指定の口座へ送金していただくこととしています。

### 4 寄付金の額

- 1口5,000円を基本として、何口でも受け付けます。

### 5 問い合わせ先

- 知床・羅臼まちづくり基金に関するお問い合わせは、羅臼町役場企画振興課まで  
お願い致します。 〒086-1892 北海道目梨郡羅臼町栄町100番地83

TEL : 0153-87-2114 FAX : 0153-87-2916

E-mail : kikaku.r@rausu-town.jp

- 知床・羅臼まちづくり基金については羅臼町のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.rausu-town.jp>

## <政策メニューリスト>

### (1) 知床の自然保護・保全事業

- 世界自然遺産の知床は、原生の自然環境と多様な生態系を保持しています。世界的にも貴重な知床の自然環境を人類共通の資産と考え、より良い形で後世に引き継いでいくことが必要です。
- 羅臼町では毎年、ボランティアで知床半島のゴミ拾いを実施していますが、知床半島周辺及び海岸線も含め漂着物が多く、知床の景観や自然環境に大きな影響を与えています。
- 漂着物の調査やビジターに対する自然環境知識の啓発などを含めた自然保護・保全を検討しています。環境の専門家などの意見を参考にしながら、随時最適な事業を実施する方針です。

当面の目標

事業内容：知床半島周辺及び海岸線ゴミ拾い・漂着物調査

概算事業費：500万円

### (2) 医療・保健・福祉のまちづくり推進事業（診療所建設事業）

- 世界自然遺産登録後、来町者の増加に伴う観光客の安全確保のための医療体制の充実が求められています。

事業内容：町民及び来町者のための医療体制の充実

### (3) 北方領土返還運動事業

- 北方領土は日本固有の領土であり、返還は日本国民の大きな願いです。
- 平成4年から北方四島に住むロシア人との相互交流（ビザなし交流）も積極的に行われ相互理解と交流も行われています。
- 羅臼町では元島民を中心に様々な返還運動を実施しておりますが、寄付を介して国民世論を更に喚起し、より充実した事業の展開を進めていきます。

当面の目標

事業内容：

概算事業費：

北方領土返還要求運動記念塔の設置	500万円
啓発葉書の作成	50万円
啓発看板の作成	150万円

#### (4) 中学校改築事業

- 羅臼町には市街地区に羅臼中学校及び八木浜地区に春松中学校の2校がありますが、羅臼中学校においては昭和43年に建築され、築後44年が経過、春松中学校は昭和44年に建築され、43年が経過しており、両校ともに劣悪な状況にあり、教育活動に大きな支障をきたしているため、早急な改築が求められています。
- 両校ともに昭和57年以降に適用された耐震基準に適合していないことから早急な対応が求められています。
- 老朽化した中学校の改築を実施し、教育環境の整備に努め、次代を担う子ども達の育成に努めます。

当面の目標

事業内容：中学校の改築

概算事業費：3億円



# 知床羅臼まちづくり寄付条例及び施行規則

## 1 知床・羅臼まちづくり寄付条例

平成 17 年 6 月 23 日

条例第 32 号

(目的)

第 1 条 寄付金を財源として、寄付者の社会的投資を具体化することにより、寄付を通じた住民参加型の地方自治を実現し、個性豊かな活力あるまちづくりに資することを目的とする。

(基金の設置)

第 2 条 寄付者から收受した寄付金を適正に管理運営するため、知床・羅臼まちづくり基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立て)

第 3 条 基金として積み立てる額は、第 1 条の目的に対し寄付された寄付金の額とする。

(寄付金の使途指定等)

第 4 条 寄付者は、自らの寄付金を町長が別に定める事業のうち何れに充てるかを予め指定できるものとする。

2 寄付金のうち前項の指定がないものについては、諸般の事情を勘案して、町長が前項の寄付金の使途に係る指定を行うものとする。また、必要がある場合には当該指定を変更できるものとする。

3 町長は、基金の積み立て、管理及び処分その他の基金の運用に当っては、寄付者の意向が反映されるよう十分配慮しなければならない。

(基金の管理)

第 5 条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(基金の収益処理)

第 6 条 基金の運用から生じる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に繰り入れるものとする。

(基金の処分)

第 7 条 基金は、第 1 条に掲げる目的のため、町長が別に定める事業に要する費用に充てる場合に限り、その全部又は一部を処分することができる。

(基金の繰替運用)

第 8 条 町長は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰り戻しの方法、期間及び利率を定めて基金に属する現金を歳入歳出現金に繰り替えて運用することができる。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、基金の管理及び運用に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## 2 知床・羅臼まちづくり寄付条例施行規則

平成 17 年 6 月 23 日

規則第 27 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、知床・羅臼まちづくり寄付条例（平成 17 年条例第 32 号。以下「条例」という。）に基づき、基金の積み立て、管理及び運用に関し必要な事項を定めるものとする。

(寄付金の受入れ)

第 2 条 条例第 3 条に規定する寄付金（以下「寄付金」という。）の受入れは、随時行うものとする。

2 寄付金は、寄付申込書（寄付採納願）（様式第 1 号）または募集により受け付けるものとする。

(事業の種類)

第 3 条 条例第 4 条第 1 項及び第 7 条に規定する町長が定める事業は、次の各号に掲げる事業とする。

- (1) 知床の自然保護・保全に関する事業
- (2) 医療・保健・福祉のまちづくり推進に関する事業
- (3) 北方領土返還運動に関する事業
- (4) 中学校改築に関する事業

(寄付金台帳の作成)

第 4 条 寄付金の適正な管理を図るため、寄付金台帳（様式第 2 号）を整備するものとする。

(寄付金の額)

第 5 条 寄付金は、1 口 5 千円とする。ただし、町長が認める場合は、この限りではない。

(事業の報告)

第 6 条 町長は、毎年度半期と通期の運用状況について、町広報及びホームページにて報告しなければならない。

(雑則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成 24 年 7 月 20 日規則第 12 号)

この規則は、公布の日から施行する。